

平成24年度 事務事業評価シート（平成23年度実績分）

事務事業名	土づくりセンター施設整備事業費		部課コード	2704	予算事業科目	010601060394	事	単	区分	継続	
所管部署	担当部局	農林水産部	部長名(2次評価者)	本山 幸一		個別事務	全部	010601060394	-		
	担当部署	土佐山地域振興課	所属長名(1次評価者)	岩崎 昭頼					-		
	電話番号	088-895-2312	E-mail	kc-270400@city.kochi.lg.jp					-		

1 事業の位置付け

予算科目(平成24年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け									
会計	01 一般会計	大綱	04 地産の環	政策基本方針	旧鏡村・土佐山村・春野町との合併により、本市では、都市部、中山間地域、田園地域のそれぞれで特色ある農業が展開されており、農業産出額は約127億円(第53次高知農林水産統計年報(平成18～平成19年)と県内一を誇っている。 ●今後一層の農業振興を図るため、農業の基盤整備を推進し、生産性を高めるとともに、外貨を稼ぐ「地産外商」の農業と、地域で産出した農産物を地域で消費する「地産地消」の農業をバランスよく進める。 ●農業の担い手の確保と育成に努めるとともに、地域特性を活かした農業や環境に配慮した農業など、特色ある取組を推進する。					
款	06 農林水産業費	政策	02 大地の恵みを活かす農業の振興							
項	01 農業費	施策	04 地域特性を活かす特色ある農業の展開							
目	06 中山間振興費	区分	01 中山間農業の活性化							

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令		法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画、覚書等)		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	とさやま土づくりセンター	
意図	どのような状態にしていくのか	地区内外からの堆肥の需要に対応する。また、ユズ皮等の加工残渣を原料とした堆肥化を行い環境循環型社会の構築を図る。	
手段	事業実施体制等	設計委託, 工事請負及び備品購入	
		事業開始年度	平成23年度から
		事業終了年度	平成24年度(予定)
活動内容	どのような事業活動を行うのか	当初の予定では平成23年度から平成24年度にかけてユズ皮残渣の一次発酵舎のみを整備する計画であったが、事業の縮減・堆肥の出荷調整の影響が少ないことから、土づくりセンター全体の施設整備を併せて行うことにより、全体計画と一体で整備する。	
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方
	A		
	B		
	C		

4 事業の実績等

			21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	目標						
		実績						
	B	目標						
		実績						
	C	目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)			3,093	85,000		
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					25,000
			市債 (千円)			2,700		60,000
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	0	0	393		0
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	0	0	7,200	7,400		
		正規職員 (千円)	0	0	7,200	7,400		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)			1.00	1.00		
		正規職員 (人)			1.00	1.00		
		その他 (人)						
総コスト= ① + ② (千円)		0	0	10,293	92,400			
市民1人当たりコスト (円)		0	0	30				
年度末住民基本台帳人数 (人)		339,714	339,130	337,875				
					総コスト/年度末人口			

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

○土づくりセンター施設整備実施計画の策定について、施設整備に係る基本構想から実施設計に至るまで、地形や製造工程、費用対効果等についての検証を行い、当初の目標を達成した。

○平成24年度については、平成23年度の実績に基づき、実際に施設整備工事等に着手し、年度内に施工完了の予定である。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 24 年 9 月 7 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	5.0	当該事業は、高知市農業委員会からの建議に応える事業であり、同時に、市長マニフェストに掲げる「土佐山百年構想の推進」を具現化するものである。
		B (3) 一部結びつく			
		C (1) あまり結びつかない			
		D (0) 結びつかない			
② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	A			
	B (3) 横ばいである				
	C (1) 少ない、減少している				
	D (0) ほとんどない				
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	A	5.0	当年度は、翌年度に予定する増強工事に向けての取り組みであり、事業化に向けての検証も含めて予定通りの進捗であり、事業成果は十分に達成しているものと考えられる。
		B (3) 概ね達成している			
		C (1) あまり順調ではない			
		D (0) 十分な成果を望めない			
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	A		
		B (3) 概ね妥当である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 見直しが必要である			
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	B	3.0	民間活力を生かしづらい環境的にも条件の悪い中山間地域であること、また、当施設の安定的な運営を通じて環境にやさしい資源循環型農業を実現し、さらに有機農業を中心とした中山間地農業の振興に役立てることを目的としていることなどから、行政主体による運営が望ましいと考える。
		B (3) 行政主体が望ましい			
		C (1) 検討の余地はある			
		D (0) 十分可能である			
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	B		
		B (3) 概ね効率的にできている			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 十分可能である			
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	B	4.0	当施設で製造される堆肥は、中山間地域の多くを占める高齢農家を中心に供給され、高齢者の生きがいや労働意欲の向上、さらには農業所得の向上につながり、受益者は偏ることなく公平性は概ね保たれている。 また、当施設は市が管理する行政財産であり、受益者負担を強いるものではないが、この施設で製造される堆肥の販売を通して、公平に受益者負担を得ている。
		B (3) 概ね保たれている			
		C (1) 偏っている			
		D (0) 公平性を欠いている			
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	A		
		B (3) 概ね適正な負担割合である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 検討すべきである			
総合点	17.0	総合評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)		
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 24 年 9 月 14 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	とさやま土づくりセンターは、中山間地域の有機農業の推進に不可欠な施設であり、今後はユズ皮等の加工残渣を原料とした堆肥化を行い環境循環型社会の構築を図っていく。
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項